

事業名 事業主体及び提案者	15 下水汚泥を再利用した有用製品開発と事業化 間瀬富隆																			
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	<p>「どうい問題を解決しようとしているか」</p> <p>市の人口は年率数%増加しており下水量も増える筈。現状は下水汚泥を焼却し、セメント原料としているが、需給バランスが崩れたとき、その処理が問題という。そこで焼却灰の再資源化と環境対策の両面から、セメント以外の用途開発を検討する。</p> <p>当面、セラミック製品(レンガ・タイル等)、園芸用品、建設資材などへの再資源化が考えられる。まず、実験室的に試作検討し、可能性ありと判断されれば、事業化へ移行する。</p> <p>エコ商品として育て、市内外に広く販路を開拓して、事業の独立採算を目指す。</p>																			
協働の内容	<p>「具体的な協働の項目」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 将来に備えて、汚泥焼却灰のセメント以外の用途開発を進めること。 2) そのために、市の保有する資源を可能な限り利用する。 3) 横浜市等他の自治体の情報を入手して、開発の重複をさけると共に、できるだけ金をかけずに事業化の検討を行う 																			
審査内容 (評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 936 1347 1151"> <thead> <tr> <th></th> <th>実現性が高い</th> <th>熟度を高める必要がある</th> <th>実現することが難しい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td></td> <td>土木総務課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課		土木総務課		担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい																	
提案者																				
行政所管課		土木総務課																		
担当推進委員																				
コメント (公開審査時)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、研究のネットワークを広げてください(推進委員)。 ・研究体制・場所を確保していくのが第一です。 ・個人の方の提案で協働事業が実現できるよう協働してがんばっていきたい。 																			
公開審査後の経過																				
協働推進会議の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に市として検討しコスト的に難しいという結論に至っていること、マーケットの分析がされていないことを考えると、直ちに協働事業とすることは難しいと思われる。 ・まず、関連する機関などとのネットワークを広げていただきたい。 																			
具体的に検討を要請する事項	<p>協働事業としては当面困難であるが、今後協働事業として熟度を高めるために次の点について検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政から提案者側に期待すること。 ・行政側として対応可能な事項。 																			